

佐藤省吾氏を那須町観光アンバサダーに任命しました



町の魅力発信に協力していただく「那須町観光アンバサダー」に、佐藤省吾氏を任命しました。

佐藤氏は、「鶴岡正義と東京ロマンチカ」のセカンドボーカルであり、現在、芦野温泉に勤務しながら、テレビやラジオへの出演、町内外のイベントなど、幅広い活動を通じて町の魅力を発信しています。

これまで培われた音楽活動の経験と豊かな表現力を活かし、観光アンバサダーとして今後ますます那須町の魅力を全国に伝えていただけることを期待しています。

▼問合せ 観光商工課観光振興係
☎ 72-6918

- ①役員会で、自主防災組織の結成について話し合います。
- ②自治会の総会で討議・可決します。なお組織の体制は、いくつかタイプがあります。
- 重複型（自治会の役員がそのまま役員を兼ねる）



ホームページ

叙勲受章おめでとうございます

皆川 純男さん(下芦野) 瑞宝小綬章【教育功労】を受章



『矢板東高等学校附属中学校創立10周年記念式典』での講演
(令和4年11月1日)

年退職して宇都宮大学教育学部客員教授となり、同大学と県教委・市町教委・小中高の連携強化に取り組みました。受章について皆川さんは「叙勲は思ひもよらず、大変驚いています。県教委と宇大の時、高校の授業改善のために、アクティブラーニング型授業（主体的・対話的で深い学び）の推進・普及に取り組んだことが強く印象に残っています。』と語ってくださいました。

昭和53年早稲田大学法学部を卒業、同

県の教育行政に携わりました。

平成23年矢板東高校・同附属中学校

の校長となり、県内3番目の中高一貫

教育校の設立・開校に尽力されました。

平成26年大田原女子高校の校長を定

年退職して宇都宮大学教育学部客員教

授となり、同大学と県教委・市町教委・

小中高の連携強化に取り組みました。

受章について皆川さんは「叙勲は思

いもよらず、大変驚いています。県教

委と宇大の時、高校の授業改善のため

に、アクティブラーニング型授業（主

体的・対話的で深い学び）の推進・普

及に取り組んだことが強く印象に残っ

ています。』と語ってくださいました。

防災のワンポイント

○自主防災組織を作りましょう

災害の初期段階は、地域住民同士がお互いに協力して「自分たちの地域は、自分たちで守る」ことが重要です。

▼なぜ必要なのか

災害発生時、町や消防などの行政機関は、総力をあげて災害対応を行いますが、災害の規模などによっては対応が迅速に行えない場合があります。その際は、地域の皆さんのが自主的に初動対応を行うことが、被害を抑えるために必要不可欠であるためです。

▼どんな活動をするのか？

災害が発生した場合、初期消火、救出・救護、避難所運営など幅広く活動します。

また、平常時には、組織体制の整備をはじめ、資機材の整備や防災訓練を実施します。

▼組織結成の流れ

※以下の手順は、自治会を基礎として自主防災組織を結成する場合です。

①役員会で、自主防災組織の結成について話し合います。

②自治会の総会で討議・可決します。なお組織の体制は、いくつかタイプがあります。

重複型（自治会の役員がそのまま

下部組織型（自治会の下に独自の代表者や役員を作る）

・別組織型（自治会が中心ではあるが、自治会とは別個に組織を結成する）

・次の書類を町へ提出します。

・自主防災組織結成届出書

・名簿（役員、会員）

・組織図および活動内容

・地区防災計画

・組織規約

①出前講座の実施

・組織結成、補助金の概要などについて、町職員が説明します。

②組織に対する補助金

・自主防災組織の結成補助

（結成時のみ50,000円）

・組織が行う防災事業費補助（毎年30,000円以内）

・組織が購入する防災資機材購入費補助（毎年100,000円以内）

・組織員の防災士資格取得費補助（毎年2人上限で1人25,000円以内）

▼問合せ 総務課危機管理係
☎ 72-6901

みんなの広場